

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2020 No.532

4 / 1

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



2019年度 第7回理事会 開催される

2020年2月28日(金)午後2時より、本会事務所で2019年度第7回理事会が開催された。

理事会の開催に当たり、中澤会長より3つの話があった。1つ目は、新型コロナウイルスの感染拡大予防に伴い、2月から3月にかけて統一講習会が中止となっており、本理事会で今後の方針を検討すること。2つ目は、医療放射線安全管理責任者講習会について、昨年度は800人の履修者を輩出した。2020(令和2)年度は本部および各地域で講習会を開催し、2,100人を修了予定とし、2021(令和3)年度にはeラーニング化を目指すということ。3つ目は、医師のタスク・シフティング、タスク・シェアリングについて、厚生労働省で第6回の検討会が終了した。診療放射線技師・臨床衛生検査技師・臨床工学技士が静脈注射を行うことが検討されており、本会は医政局長に要望を提出した。診療放射線技師については、四病院団体協議会からは後押しを受けているが、看護協会から反対表明を受け、本会としては業務拡大が行えるよう政策を進めていく方針であるということであった。

主な議題として、「2020年度事業計画案について」では総括を中澤会長より、各事業については江田理事より、「2020

年度事業予算案について」では小田理事より詳細な説明があり、活発な質疑があった。「次年度JART組織編制について」では、特別委員会として新養成カリキュラム教育検討委員会・綱領見直し委員会、常設委員会として臨床実習指導教育委員会、小委員会として業務改善推進委員会を新設するとの説明があった。「定款改正・諸規程見直し案について」では、熊代副会長から主な定款改正案として副会長を2人から3人に、業務執行理事を3人から4人に、永年勤続50年表彰の規定変更などの説明があった。「COVID-19感染対策における統一講習会中止への対応について」では、2月・3月に中止された統一講習会を感染が終息した後、地域からの要望があれば日程を改めて開催する方針案が示された。その他は「第81回定時総会開催について」「第38回日本診療放射線技師学術大会候補地について」「本年度の永年勤続表彰者・功労表彰者について」「新事務所移転先について」「会誌目次案・Network Now台割案について」「入退会者・除籍者・免除者の承認について」であり、全ての議題が承認された。

報告事項は、「執行理事報告」「会員動向報告」「月次決算報告」「タスク・シフト/シェア推進検討会報告」「厚生労働省科学研究費「医療機器の保守点検指針の作成等に関する研究」について」「医療放射線の安全利用フォーラム及び医療領域の水晶体被ばく防護のガイドライン会議報告について」「新生涯教育システム委員会報告」「国際委員会報告」「編集委員会報告」「広報委員会報告」「調査委員会報告」「会員情報システム委員会報告」「災害対策委員会報告」「統一講習会実施運営委員会報告」「医療安全対策委員会報告」「入会促進委員会報告」「人材育成委員会報告」「主任者定期講習運営委員会報告」「新事務所移転実行委員会報告」「臨床実習指導施設登録報告」「第36回日本診療放射線技師学術大会について」「外部団体への役員任命について」「地域理事報告」「医療被



ばく低減施設認定更新報告」「委員会報告」であった。

「学術教育委員会報告」では医療放射線安全管理責任者講習会の日程延期、「診療報酬政策立案委員会報告」では超音波検査における算定要件について、「国家試験問題評価委員会報告」では今回の国家試験の分析について報告があった。

最後に、江田理事より今後のスケジュールの確認が行われ、本理事会は閉会した。

詳細な内容は、2019年度第7回理事会議事録(抄)をご覧ください。



復興庁訪問報告(放射線関連教育について)

東日本大震災復興事業における放射線関連教育について、復興庁よりヒアリングしたいとの申し入れがあり、2019年12月5日(木)、復興庁 横山信一副大臣室に中澤会長、上島事務局長、木村専門職が訪問した。本会が震災復興に協力できることについて、ならびに埼玉県診療放射線技師会・大分県放射線技師会の小学校・中学校・高校への放射線関連教育の訪問授業の取り組み・課題について説明した。その後、復興庁より、実際の訪問事業についてより詳細な内容を伺いたいと連絡があり、スケジュール調整ができた大分県放射線技師会で訪問授業に積極的に取り組んでいる桑原宏大分県副会長と共に、再び12月25日(水)に復興庁へ訪問し、桑原副会長より、県内の取り組みについて、映像を交えながら説明を行った。同時に、双方より東日本大震災後の放射線教育に関する課題なども挙げられた。さらに復興庁や他の省庁から放射線関連の情報や副読本が公表・配布されているが、まだ風評被害が

なくならないため、今後、どのように情報を提供していけばよいかなど、復興庁の担当者とディスカッションを行い、大変有意義な内容となった。なお、大分県での取り組みについては今月号会誌に掲載されているので、ご覧ください。



2019年度 第2回 Ai認定講習会 開催される

2020年2月1日(土)・2日(日)の2日間、駒澤大学で第2回Ai認定講習会が開催された。この講習会は、Ai(死亡時画像診断)を適切に活用するための基礎知識・技能の普及を目的に、2011(平成23)年より行われている。内容は、Aiに特化した放射線技術の専門分野だけではなく、Aiに関連する病理学・法医学・看護学の分野についても広く学べるようになっている。またAi認定診療放射線技師の資格を取得するための指定講習会でもある。

当日は全国より82人の受講者が集まり、1日目は8科目、2日目は4科目の講義を受講し、最後に確認試験を行って全員が受講修了証を手にした。早速、Ai認定診療放射線技師



の申請手続きを行っていただき、各施設で適切なAi運用を
実践していただきたい。また4月1日より施行される死因究
明等推進基本法においても、各自治体での活躍を期待する。

Ai分科会では、2020年度もAi認定講習会を2回（東京・
大阪）開催する予定であり、詳細が決まり次第、皆さまにお

知らせする。その他、Ai症例報告会についても開催する予
定であり、Ai認定診療放射線技師のスキルアップにつな
がるイベントとして、こちらにも多くの方にご参加いた
だきたい。（Ai分科会 会長 樋口清孝）

2019年度 第2回 放射線被ばく相談員講習会 開催される

2020年2月8日（土）・9日（日）の2日間、本会事務所講義
室で2019年度第2回放射線被ばく相談員講習会が開催され
た。これまで30人だった定員を、今回より36人に増員した。

1日目、まず小松より放射線被ばく相談の記録作成につ
いて講義を実施した。そして臨床心理士である塚野先生からは
被ばく相談における傾聴の重要性について、HSEリスク・
シーキューブ 土屋先生からはリスク・コミュニケーション
について、産業医科大学 榎田先生からは内部被ばくを中心
に福島の実状についてご講義いただいた。

2日目は、自施設で積極的に被ばく相談を行っている小張
総合病院 笹崎先生、聖隷沼津病院 勝浦先生に、自施設での
被ばく相談窓口の具体的な運用についてご紹介いただいた。

座学以外に、模擬被ばく相談対応などを含む3.5時間の傾
聴訓練（ワーク）が日本放射線カウンセリング学会傾聴訓練
指導者により実施された。特に傾聴訓練は、座学だけでは習
得が困難な傾聴について学習することができるため、毎回、
受講者から好評を得ている。

医療法施行規則改正目前の開催ということもあり、被ばく



説明に関連した質問も多く頂いた。被ばく相談のみならず、
医療法改正でも放射線被ばく相談員が全国の現場で活躍する
ことを願う。（放射線被ばく相談員分科会 会長 小松裕司）

下部消化管（注腸）認定診療放射線技師講習会・ 認定試験 実施される

2020年2月16日（日）、本会事務所講義室で下部消化管（注
腸）認定診療放射線技師講習会・認定試験が行われた。

初めに、本会小田理事よりあいさつがあり講習会が始ま
った。講義は、おおよそ4時間で『大腸の解剖・生理』『消化
管造影検査概論』『被ばく・機器管理』『撮影・読影』につ
いて行われ、講義の後に講習会修了証が配られ認定試験となり、
ほぼ1日を費やしての講習会・認定試験は終了となった。受
講・受験された皆さま、本当にお疲れさまでした。

近年、消化管造影検査は手技の煩雑さ、検査自体が他モダ
リティーの進歩に比べ古典的手法であることから、造影検査
の担い手が減少し、それに伴い検査件数の減少だけではなく、
検査の必要性も議論されることがしばしば見受けられる。し
かしながら、当院を例に挙げるならば、確かにスクリーニン

グ目的に行われる消化管造影検査は減少しているが、炎症性
腸疾患のFollow upや大腸内視鏡後同日注腸X線造影検査
など、専門的な役割を持つ消化管造影検査は一定の検査件数
を保っており、われわれ診療放射線技師は検査の必要性に気
を取られず、検査精度向上に励まなければならないと考える。
今回の講習会後に行ったアンケート調査でも、各施設で行わ
れている検査の中で、小腸造影検査や胃精密X線検査、イレ
ウス管造影検査を診療放射線技師が行っていると回答した施
設が4～5割ほどあった。検診での胃X線検査を対象とした
勉強会は多数見受けられるが、それ以外の消化管造影検査を
対象としたものは少なく、今後、消化管画像分科会としての
課題であると考えている。

2019年度 がん放射線治療における質の確保に向けた基礎セミナー 開催される

本会事業計画には、「がん対策ならびに検診受診促進に関する事業」を行うことが明記（担当：広報委員会）されており、その中には「がん放射線治療の均てん化」として「がん放射線治療の均てん化ならびに質の確保、向上に向けた事業を行う」とされている。

これに基づき、2020年2月24日（月・振休）に、本会広報委員会と放射線治療分科会が合同で「2019年度がん放射線治療における質の確保に向けた基礎セミナー」を開催した。

本セミナーは、募集開始から4日で定員（募集40人）となるなど、参加者の期待がうかがえた。

当日は、がん放射線治療の質の確保に必要な基礎知識を中心に以下の内容で行われた。

1. がん放射線治療における不確かさと有効数字の取り扱いについて
津野 隼人 先生（公益財団法人 がん研究会有明病院 放射線治療部）
2. がん放射線治療における高エネルギーX線のビームデータ取得に必要とされる知識
安井 啓祐 先生（藤田医科大学 医療科学部 放射線学科）
3. がん放射線治療における高エネルギーX線の吸収線量評価
田中 義浩 先生（京都第一赤十字病院）
4. がん放射線治療におけるモニタ単位数（MU値）計算の基礎
若山 司 先生（兵庫医科大学病院 放射線技術部）
5. 総合ディスカッション（グループワーク）・質疑応答
総合司会：霜村 康平 先生（京都医療科学大学 医療科学



部 放射線技術学科)

チューター：辰巳 大作 先生（都鳥放射線科クリニック）

チューター：川守田 龍 先生（社会医療法人きつこう会 多根総合病院）※本会放射線治療分科会長

本プログラムは可能な限り平易な内容とし、明日から役に立つ知識を持ち帰れるセミナーを目指して熱の入った講義が行われた。

総合ディスカッションでは、参加者がペアとなり、自己紹介の後、司会者の設問に対し協力して検討を進めるなど活発な活動が行われた。

終了後には閉講式が行われ、本会広報担当の松田理事から代表者に修了証が手渡され、本年度のセミナーを終了した。

2019年度 国家試験問題評価委員会 開催される

2020年2月27日（木）、2019（令和元）年度の国家試験問題評価委員会が本会事務所講義室で開催された。去る2月20日（木）、第72回診療放射線技師国家試験が全国8カ所の試験会場で実施され、今年も診療放射線技師養成教育機関から約3,200人が受験に臨んだ。昨年度は、受験者数3,202人に対し合格者数は2,537人で合格率79.2%の結果であった。本年度の結果はどうであろうか？ また難易度はどうか？ 気になるところである。

現在、本委員会メンバーは10人、おのおのが教育機関や医療施設に属して日々専門分野で活躍されている会員で構成されている。本委員会は、毎年出題された診療放射線技師の国家試験問題が適正であったかをさまざまな視点から検討し、職能団体として本年度施行された国家試験問題の評価・

分析を行い、意見調整した結果を取りまとめるための委員会である。現状の医療現場において、診療放射線技師に必要なとされる知識および技術を習得しているか、最新の検査・治療技術などが試験問題に反映されていたかなどを詳細に議論し、本委員会は終了した。

委員会の結果については、本会で詳細に検討を行い、近期中に答申書として厚生労働省に提出する予定である。

国家試験問題評価委員会の委員構成

○佐野 幹夫 岡部 圭吾 丸山 智之 成田 浩人 井戸 靖司
西澤 徹 木暮 陽介 丹羽 政美 腰塚 慎二 安田 光慶

（国家試験問題評価委員会 委員長 佐野幹夫）

新型コロナウイルス感染症の予防関連資料など

現在、世界中で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症に関して厚生労働省から予防策などが出されています。会員の皆さまにおかれましては、日常業務において、手洗いを含め自身の感染防止のみならず、院内感染リスク軽減の参考にしてください。

1) 手洗い、咳エチケットについて 厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593494.pdf>



- 手順1：流水でよく手を濡らした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります
 2：手の甲をのばすようにこすります
 3：指先・爪の間を念入りにこすります
 4：指の間を洗います
 5：親指と手のひらをねじり洗います
 6：手首も忘れずに洗います

手洗いが終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。



2) 新型コロナウイルス感染症について 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



3) 新型コロナウイルスの感染が疑われる人がいる場合の家庭内での注意事項 (日本環境感染学会とりまとめ) 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00009.html



4) 新型コロナウイルスに関するQ&A (関連業種の方向け) 厚生労働省

以下のQ&Aに答えていますので参考にしてください。

- Q. 食品を介して新型コロナウイルス感染症に感染することはありますか？
- Q. 普段の清掃で気を付けることはありますか？
- Q. 新型コロナウイルスにより亡くなられた方の遺体は、24時間以内に火葬しなければならないのですか？
- Q. 新型コロナウイルスにより亡くなった方の遺体の搬送作業や火葬作業に従事する者が留意すべき事項はありますか？

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19_qa_kanrenkigyuu.html



5) 新型コロナウイルスに関するQ&A (一般の方向け) 2020年3月9日時点版 厚生労働省

このQ&Aは、ニュースなどでマスメディアが取り上げ解説している内容と同様ですが、医療現場においても、十分有効な考え方やエビデンスなどが含まれておりますので、ご一読いただき、しっかりとした感染症への知識を深めていただければと思います。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html



6) Coronavirus COVID-19 Global Cases by Johns Hopkins CSSE

ジョンズ・ホプキンス大学による世界の新型コロナウイルスCOVID-19感染状況が確認できます。参考値になると思います。

<https://gisanddata.maps.arcgis.com/apps/opsdashboard/index.html#/bda7594740fd40299423467b48e9ecf6>



2019年度 近畿地域診療放射線技師会 学術大会 報告記

公益社団法人日本診療放射線技師会
近畿地域理事 高嶋 敏光

2020年2月9日(日)、京都市の京都テルサにおいて2019年度近畿地域診療放射線技師会学術大会が、テーマを「信頼・感謝・そして未来へ」～画像技術が果たす役割と新たな可能性をめざす～と題して開催された。折からの新型コロナウイルスの影響で韓国のソウル特別市放射線士会(SRTA)が来日できなくなり、国際セッションを縮小せざるを得ないという影響もあったが、総勢356人の参加者で盛大に開催された。本大会は、日本診療放射線技師会ならびに近畿各府県(診療)放射線技師会の持ち回りによる主催で開催しており、本年度は京都府放射線技師会が担当した。

開催に先立ち、来賓の畦元将吾衆議院議員からご祝辞を頂き、永年地区役員としてご尽力を頂いた3人に日本診療放射線技師会功労表彰が授与された。受賞者の皆さま、誠にありがとうございました。

プログラムは、教育講演として本会の佐野幹夫副会長より「将来の診療放射線技師像を求めて」～我々を取り巻く医療環境に変化～と題して、本会の職能団体としてのさまざまな環境の変化に対する的確な事業展開を通して、医療放射線の安全管理、タスク・シフティング、技師のPractitioner、技師制度改革という4つの観点から将来の診療放射線技師像を示していただいた。特別講演では前回に引き続き、北浜法律事務所の弁護士であり医師でもある長谷部圭司先生から「医療安全を法的視点から考える」～診療放射線技師が医療現場で遭遇するトラブルへの事前、事後の対処法～と題して、法的な背景を基に解決法および対処法について事例を挙げてご講演を頂いた。

一般演題は4セッションで23演題、国際セッション



は5演題(ソウル2演題は取りやめ)の発表があり、各演題それぞれ日頃の研究成果をご披露いただいた。国際セッションでは巧みな英語を駆使した発表が行われた。シンポジウムでは、「技師教育について」という観点で4人のシンポジストから、それぞれの職場でのチェックシートやラダー、プリセプターなどの手法を使った技師教育を実施する中で得られた成果や問題点などの話題提供により、会場の参加者も交えたディスカッションが行われた。女性活躍推進班「関西☆collection」のパネルディスカッションでは「出産前後ドーしてはりましたか?」～産休・育休・復職について～と題した内容で、出産後に復職して活躍されている3人の方に、さまざまなエピソードを盛り込んだ話題提供をしていただき、会場の参加者との意見交換を行った。さらに分科会企画では、骨撮影分科会の「荷重関節である下肢に対する立位撮影の有用性」、読影分科会の「医療安全の確保に向けた読影補助の体制整備について」、管理士分科会の「診療用放射線の適正管理に関する医療法施行規則改正について」という、それぞれホットな話題提供により開催さ





れ、どの会場も満員状態という盛況ぶりであった。

府民公開講座では「元気に楽しく生きよう～食べて延ばそう健康寿命～」と題したテーマで、国立病院機構京都医療センターの西田博樹先生から「明日からできる食事健康法」、浅原哲子先生から「上げよう！メタボ撲滅の輪」と題して、府民の方々の健康長寿を目指して楽しく取り組める内容の講義が行われた。

また社会情勢の厳しい中、ランチョンセミナー3社、機器展示6社の賛助会員さまのご協力を得て、今の診療用放射線のトレンドに関連した話題提供を頂いた。

本大会の一般演題での学術奨励賞は、「頭部血管肉腫

照射におけるポーラスの検討」京都府立医科大学附属病院 大北哲也氏、近畿地域理事賞は「消泡剤を用いた大腸CTの消泡効果の検討」舞鶴共済病院 池田雄士氏がそれぞれ受賞された。おめでとうございます。このたびの大会の開催に際し、ご尽力を頂きました関係各位に深甚の感謝を申し上げ報告と致します。

なお、次回2020年度近畿地域診療放射線技師会学術大会in奈良は、大会テーマ「繋ぐ」と題して、2021年2月14日(日)、奈良県産業会館で開催する予定です。本大会同様、盛会に開催されますことをご祈念しております。

臨床実習の大切さ



私が所属する病院には、毎年、診療放射線技師養成校2～3校から、合わせて60人以上の学生が臨床実習に来ている。私は、臨床実習の初日にあいさつと、最終日に1時間弱学生たちとディスカッションをしている。ある最終日、一人の学生がこんな発言をした。「これまで学校で講義を受けてきましたが、診療放射線技師の仕事に魅力を感じなくなっていました。退学さえ考えていました。ですが、この病院に実習に来て、診療放射線技師が患者さんに接している姿を間近で見て、やっぱり診療放射線技師になろうと改めて思いました」その学生は目キラキラと輝いていた。改めて臨床実習の大切さを痛感した。

私は、3、4年生の実習生には、実習初日に次の3つの重点目標を伝えている。

1. 教科書や講義で学んだことを実際の医療現場で確認すること。2. 当院の診療放射線技師が患者さんにどのように接し

ているか、しっかり見て学ぶこと。3. 診療放射線技師だけではなく、医師・看護師・臨床工学技士、受付の事務職員など、一緒に仕事をする他職種についてもどんな仕事をしているか学ぶこと。

臨床実習で、学生は実際の医療現場に初めて接し、その空気を感じ、座学と実践の違い、学生と社会人の違いなども認識する。学生自身がどのように感じ、その後どのように努力するか、指導者はどう助けができるかが重要と思う。

医師の教育では、見学型から参加型の臨床実習、さらにシームレスな教育に進んでいる中、診療放射線技師教育はやっと臨床実習が10単位から12単位になることが決まった。指導者の教育についても「・・・望ましい」として追記された。

大切な臨床実習は、時間数だけではなく中身を充実させることが重要であり、課題である。

(文責：中村 勝)

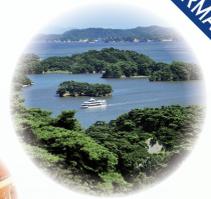
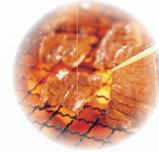
INFORMATION



第7回 第36回日本診療放射線技師学術大会

宮城への道

宮城県放射線技師会 広報部



宮城は意外と祭り好き？

宮城には、四季を通していろいろなお祭りやイベントがあります。お祭りという動きのあるイメージが大きいと思いますが、それほど「動」というイメージはなく「ほそぼそとやっている」感じのお祭りやイベントが多いです。



正月が終わると「どんと祭」が行われます。正月飾りを焼き、御神火にあたることで一年の無病息災・家内安全を祈願するお祭りで、県内各地で行われています。



桜の花が散り始めると仙台のお祭り・イベントが活発になります。ゴールデンウィークが終わり、ケヤキ並木が青々としてくると「青葉まつり」が始まります。宵まつりではおやしりが鳴り響き、大人から子どもまで参加するすすめ踊りが演舞され、本まつりでは豪華絢爛な山鉾巡行、甲冑行列が繰り広げられます。



真夏には大本命の「仙台七夕まつり」が始まります。市中が七夕飾り一色になります。メイン会場の一番町には、色とりどりの七夕飾りが飾られます。風になびく七夕飾りに涼風を感じながらのビールは格別です。また夏の暑さが残る初秋には、今年で30周年を迎える国内最大級の市民音楽祭「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」が始まります。市内の公共施設前や公園などがステージとなり、全国各地からプロ・アマ約700バンド、そして77万人の観客が多彩なジャンルの音楽を楽しみます。



そして年の瀬も押し迫るころ「SENDAI光のページェント」が始まります。市民ボランティアが中心となって運営する、定禅寺通のケヤキ並木に数十万に上る数のLEDを取り付けて点灯するイルミネーションイベントです。仙台の冬の風物詩となっており、市民がサンタクロースなどの衣装を着て、定禅寺通でパフォーマンスやパレードを行うのも魅力です。

どれも学会中では見ることができませんが、ぜひ仙台に来ていただいて、街の雰囲気を感じ取っていただけたらと思います。

では、また来月をお楽しみに！



*今月の一杯：今月は「山和（やまわ）」です。純米吟醸無ろ過生原酒、通称「ピン山」。爽やかな香りと、優しい米のうま味がバランスよく広がる生原酒です。お薦めです。ぜひ、ご賞味を！



第36回 The 36th Japan Conference of Radiological Technologist (JCRT)

日本診療放射線技師学術大会 In Sendai

国民と共にチーム医療を推進しよう
Let's promote team medical care with the nation

人と技術をつなぐ令和の未来へ
To the future of Reiwa connecting people and technology

会期
Date

2020年
10月23日(金)▶25日(日)

会場
Venue

仙台国際センター

会長
President

中澤 靖夫 Yasuo Nakazawa
公益社団法人日本診療放射線技師会 会長

大会長
Chairman

立花 茂 Shigeru Tachibana
公益社団法人 宮城県放射線技師会 会長

主催

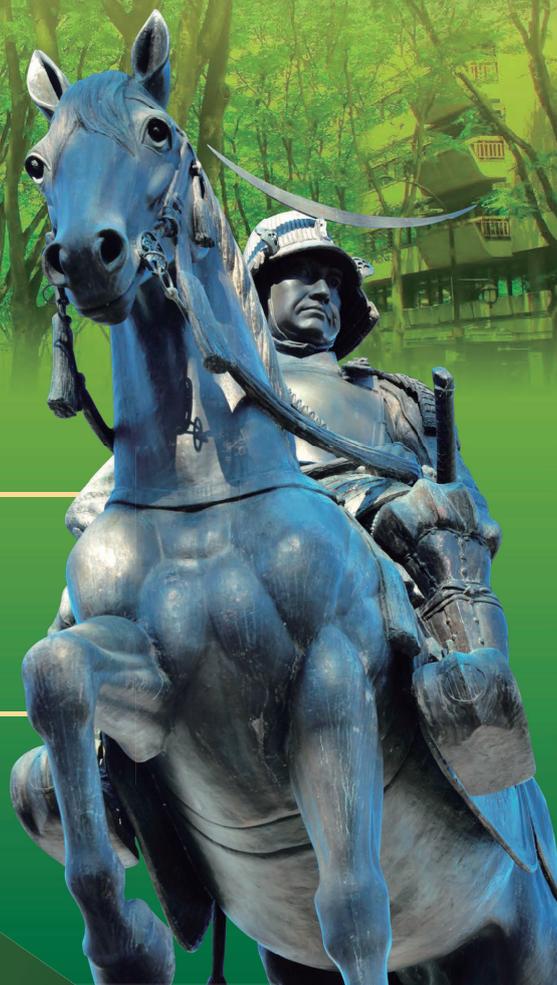
公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催

公益社団法人 宮城県放射線技師会

後援

厚生労働省 (予定)
宮城県 (予定)
仙台市 (予定)



運営事務局 公益社団法人 宮城県放射線技師会 事務局

〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷三丁目4番15号 TEL : 022 (388) 3777 FAX : 022 (388) 3778

第36回日本診療放射線技師学術大会 宿泊予約について

INFORMATION

第36回日本診療放射線技師学術大会期間中は、宮城県内で開催されるイベントのため、宿泊施設の確保が困難になることが予想されます。

2020年3月1日より第36回日本診療放射線技師学術大会ホームページで宿泊案内を開始します。早めの宿泊施設の確保をお願い致します。

4月・5月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応のため5月30日～31日の放射線被ばく相談員講習会は中止致しました。

ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程： www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程： www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000004api.html

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応のため4月18日～19日の第1回：東京開催は中止致しました。

会員情報システム (JARTIS) 更新に伴う、会費・受講料等の支払い方法の変更について

INFORMATION

本会では、会員の皆さまの会費・受講料等の支払いの利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化に向けた取り組みを推進しております。

このたびのJARTIS更新に伴い、以下の通り支払い方法の変更を計画しております。

まず、8月初旬の新JARTIS稼働に合わせて従来の方法に加え、これまでご要望の多かった「クレジットカード払い」ができるよう変更し、その後、2024（令和6）年度をめどに完全ペーパーレス化を進めてまいります。

皆さまにおかれましては、ご承知おきいただくとともに、移行に当たりご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人日本診療放射線技師会 財務委員会・事務局

会費・受講料等の支払い方法について

	2019 (令和1) 実績	2020 (令和2) 7/9まで	2020 (令和2) 8/10	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)	2024 (令和6)	2025 (令和7)	2026 (令和8)
コンビニ払込票	25,493	●	●	●	●	●	●		
コンビニペーパーレス	2,600	●	●	●	●	●	●	●	●
郵便局	8,596	●	●	●	●				
銀行払込票	1,107	●	●	●	●				
銀行ペーパーレス	-	▲	▲	▲	▲	●	●	●	●
クレジットカード	-		●	●	●	●	●	●	●

- 1 新情報システムリリース（2020（令和2）年8月10日）より、クレジットカード払いに対応致します。
- 2 2022（令和4）年度をもって、郵便局および銀行払込票を中止致します。
- 3 2023（令和5）年度より、銀行ペーパーレスを本格的に実施致します。
- 4 2025（令和7）年度より、完全ペーパーレス化致します。
- 5 会員の支払い方法の割合により、計画は前後することがあります。
- 6 今後、社会において新しい支払いサービスが登場したら、随時検討致します。

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。